

A photograph of five hands reaching up from the bottom and sides, with their index and middle fingers extended to form a five-pointed star shape. The hands are light-skinned and appear to be of different ages or ethnicities. The background is a bright blue sky with soft, white clouds. The overall mood is positive and hopeful.

共同生活で
自分を磨く
男子学生寮

和敬塾

Male University Students' Dormitory in Tokyo, Japan.
Not merely a dormitory but a place to cultivate virtue
through daily community life.



今からおよそ60年前。 一人の男の熱い想いが 男子学生寮「和敬塾」を生んだ。

和敬塾は、単なる集合の場ではない。
各自が自己を磨き、自己を完成させる修練の場である。
塾生活を送られる諸君は
雄大な希望の実現のために努力されたい。

～和敬塾創立者 前川喜作の言葉より～

Wakeijuku was established in 1955, by Japanese philanthropist, Kisaku Mayekawa (1895-1986). Wakeijuku is a dormitory for male students aiming "Human Growth through daily community life", not a mere boarding house. "Wa" is communication, "Kei" is reverence for "Sin-Zen-Bi"(the true, the good and the beautiful), and "Juku" is Japanese traditional school which helps students to build up character.

創立者 前川喜作 (1895-1986) の想い

昭和30 (1955) 年、和敬塾は男子学生寮として誕生しました。以下は、昭和38 (1963) 年の創立8周年記念式典で創立者・前川喜作が述べた式辞を編集したもの。ここに、和敬塾に寄せる創立者の熱い想いが込められています。

諸君が初めて和敬塾へ来られた時には、老樹につつまれた幽邃な環境や、近代的な建築や設備などについて、瞠目されたのではなかろうかと思ひます。と申しますのは、諸君の入塾の際の身上調査には、「こんな所が東京にもあるのだろうかと思った」など、感想が沢山書かれて居るのであります。ところが、それらは単に形にあらわれた外形だけが諸君の目に映じたのでありまして、その本質、精神と申しますか、和敬塾が何を旨として設立され、運営されて居るか、即ち和敬塾設立の趣旨については、一向に認識されて居られなかったと存ずるのであります。

この和敬塾は、塾なのでありまして、和敬寮ではないのであります。塾と申しますと、大体に於てよき指導者と生活を共にして学問知識を磨き、人格を高める人間形成の場であります。和敬塾には特定の中心人物はありませんが、人間形成を目途とした学寮でありまして、ここで共同生活を通じて学生諸君にセルフメードしてもらう様な考え方であります。諸君の手助けをするんだ、とこの和敬塾が出来上ったのであります。

終戦直後、敗戦による大きなスランプに国民全部が陥りました。私事で恐縮ですが、私は私の家庭で「いくさは負けてもよい、魂はうばわれてはならぬ。敗戦は却ってよい機会だ。『折角』いくさに負けたのだから」と申しました。子供達は「お父様は随分乱暴なことをおっしゃる」と云うようなことでしたが、私はこれを機会としなければ、日本は立ちあがれないだろう、と云うことを、「折角」と云う言葉に託したのであります。

当時は、食事やその他日常生活については、さながら死生線上をさまようような有様で、学生諸君の気魄は地に落ちてしまった。これではいかん、本当に「国破れて山河在り」と云うような感傷にも打たれたので、私は江戸鴨村*先生のご指導の下に、宗教法人和敬会と云うものを設立致しまして、青年や大学生諸君と座禅をやり、提唱を聴き、またいろいろな思想、文芸等の話を聴き、いろいろやって見ましたところ、大勢の熱心な学生が集りまして、大変

盛んになりましたが、何か観念の遊戲に墮してしまっているきらいがありました。そこで、これは物心両面の何かをやらなくてはいけないのだと云うことから、和敬塾の設立を思い立ったのであります。

さて、和敬塾は一つの趣旨、目標を名前としているのでありまして、和敬塾がシンボルとしておるものは、即ち「和」と「敬」なのであります。然らば和と敬とは何を云うのかと云いますと、「敬」は聖徳太子の十七条憲法の「和を以て貴しと為す」「篤く三宝を敬え」「三宝とは仏法僧なり」と仰せられた、あの「敬」であります。即ち神、仏、或は真理と申しますか、それを「敬う」と云うことであります。真であり、善であり、美であるもの——如何なる時代、如何なる場所に於ても、絶対に普遍性と妥当性のあるものを前提とすべきだと云う考え方でありまして、人間がお互同志尊重しあうと云う意味とはやや異って居るのであります。

「和」は御承知の通り、人間を対象とした、道義的精神を基調とした、人間と人間との和合であります。近頃の新しい表現で申しますれば「コミュニケーション」、人と人との、心と心との流通、やりとりではなかろうかと思ひます。つまり神、仏、或は真理を「敬する」と云う気持、仏教的、禅的に申しますれば「衆生本来仏なり」とか「山川草木悉皆成仏」とか、人間銘々が皆仏性をそなえて居るのだとするならば、お互同志の「敬」を前提として、「和」と云うものにつながるのではあるまいかと、私はそう解釈して居るのであります。

和敬塾は「和」と「敬」の場であり、人間形成の場であり、修養の場なのだ。諸君と一緒に人間形成をやってもらいたいと云うのが念願で、私共は今日まで努力を続けて居るのであります。和敬塾は単なる集合の場ではないのだ、各自が自己を磨き、自己を完成する修練の場であるとうことをよくご認識を願って、塾生活を進めて頂きたいのであります。塾生として塾生活を送られる諸君は、どうぞ一つ雄大な希望の実現のために努力されたい、刻々の塾生活を最も有意義に送ってもらいたいと思うのであります。



和敬塾本館（改修前）



和敬塾正門（昭和40年）



昭和32年4月 第1回講演集合写真



建設中の和敬塾



昭和41年1月 和敬塾午餞会にて

- | | |
|------|--|
| 1946 | 昭和21年 前川喜作、「和敬会」を創設し財団法人和敬塾創設を構想 |
| 1955 | 昭和30年3月19日 財団法人和敬塾設立発起人総会
12月 旧細川侯本邸敷地7,000坪・本館コンクリート建600坪購入 |
| 1956 | 昭和31年3月 本館に塾生51名を収容、教育事業を開始 |
| 1957 | 昭和32年4月 南寮開設（本館より在塾生が南寮に移る）
三笠宮崇仁親王殿下による講演「オリエント史について」(以降500回以上講演会を開催)
7月 西寮開設
9月15日 和敬塾落成式 |
| 1958 | 昭和33年4月 北寮開設 |
| 1986 | 昭和61年7月19日 前川喜作死去 |
| 1997 | 平成 9年2月28日 東寮開設 |
| 2009 | 平成21年2月23日 新棟完成（西寮・北寮）
3月 乾寮開設（旧北寮を改修） |
| 2012 | 平成24年2月1日 公益財団法人へ移行 |

HISTORY



左：二人部屋（現在は全室個室） 右：昭和32年頃の新入塾生募集ポスター

* 江戸鴨村 (1884-1969) 仏教学者。和敬塾設立発起人・理事。

豊かな環境の中で、
共同生活を通して、
自分を深める日々。

東京・目白の7,000坪の敷地。花と緑に囲まれた豊かな環境の中で、国内外のさまざまな地域から集まった400人の大学生、大学院生、留学生がともに暮らし、学びの日々を送っています。

More than 23,000m² of Wakeijuku land in Mejiro, Tokyo, Japan - there are rich greens and many seasonal flowers. 400 boarders consisting of undergraduates, graduates and international students who come from all over Japan and all around the world to live, study, and to build up their character together.

写真：和敬塾本館（旧細川侯爵邸）和敬塾本館は昭和初期の代表的な華族邸宅で、東京都の指定有形文化財。教養講座や行事など、特別な機会に入ることができます。



【これまでの講演会講師】

湯川秀樹先生・金田一京助先生・朝永振一郎先生・西堀栄三郎先生・城山三郎先生・養老孟司先生・野口健先生 ほか



言語や背景の異なる多彩な仲間と暮らし、さまざまな考え方を知る。
14の教養講座で伝統文化に触れ、心と身体を鍛える。
有識者を招いての講演会・シンポジウムで、人生の知恵を学ぶ。
日々の暮らしの中で自己を磨き、教養を身につける場所です。

Live within borders of different background and get to know various views.
Join 14 Cultural Activities of Japanese traditional cultures and train your mind & body.
Listen to lectures of experts and study wisdom of life.
Wakeijuku is a place to build up your character through everyday life.



【教養講座】

剣道・居合道・柔道・空手道・直心影流法定・
中国古典輪読会・茶道・棋道・書道・坐禅・
絵画研究会・グレートブックス研究会・タッチ
フットボール同好会・修斗同好会





Fellows

塾生の1割以上が留学生。OBは5,000人超

塾生の1割以上が海外からの留学生。英語はもちろん、韓国語、中国語に触れる機会もあります。また、5,000人を超えるOBとのつながりは大きな財産。希望する塾生は就職活動を支援してもらえます。

Over 10% of boarders are international students. The number of Wakejuku alumni exceeds more than 5000.



Events

友情を育む多彩な行事

入塾式、創立記念塾祭、体育祭、予饞会(卒塾式)の四大家行事をはじめ、年間を通してさまざまな行事があります。

Some annual events are held: Entrance Ceremony, Festival of Establishment Anniversary, Sports Festival, Graduation Ceremony, and so on.



クラシックギター奏者 村治奏一先生
(平成26年 塾祭記念公演)

Shared bath

大浴場で“裸のつきあい”

学生ホール1階にある大浴場は塾生の交流の場。入浴日は冬季は木曜日を除く毎日、他の時期は日・月・水・金曜日で、時間は17:00から22:30までです。シャワーは毎日6:30から25:00まで利用できます。

Shared bath is in the Student Center, not in each dorm. Only East and New South dorm have showerrooms in it.

Anti-disaster measures

毎日の安心と安全のために

敷地内の建物は安全点検・改善工事を毎年実施。また、非常時に塾生が3日間生活できる食料や救出救命機材を塾内に備えています。

Preparations to disasters especially like earthquake: check of dorm buildings every year, emergency supplies enough for 400 boarders, etc.

Dorms & Rooms

全室個室。生活を支える設備も充実

和敬塾には東寮・西寮・新南寮・北寮の全4棟があります。居室は全室個室、家具・冷暖房完備。各寮にスタッフが常駐しているため、病気の時も安心です。グランドピアノや音楽練習場、テニスコートに武道場など、共用施設も充実。勉強に集中したいときは、24時間利用できる自修室があります。

There are four dormitories in Wakejuku - East dorm, West dorm, New South Dorm, North dorm. The rooms are all Western style single rooms with some furniture - bed, desk, chair, bookshelf, storage rack, LAN connection and air conditioner.

●個室面積／11.25㎡(約7畳) ●個室設備／ベッド・机・椅子・本棚・収納棚・クローゼット・シューズボックス・空調機・カーテンまたはブラインド ●共用施設・備品／トイレ(各階)・洗面台・アイロン・給湯器・冷蔵庫・電子レンジ・ガスレンジまたはIHクッキングヒーター・コインランドリー(洗濯100円・乾燥100円)・物干しスペース・駐輪場・インターネットすぐ利用可(無料)・構内禁煙(喫煙所あり)



Meal

専任の栄養士と調理師が食事を提供

栄養バランスを配慮したできたての食事を毎日朝・夕2食提供します(費用は塾費に含む)。夕食時間の延長もでき(延食制度)、病気のときにはおかげやうどんなども頼めます。

Wakejuku provides breakfast and dinner every day (lunch is also provided for 300 yen). Even when you come back late, you can still have dinner (latest 22:50).



和敬塾が大切にしている3つのこと

1. 挨拶の励行

人間関係を築きあげていくための基本です。

2. 共同生活上のルールの遵守

他人同士が生活していくための約束ごとです。

3. 行事・教養活動への積極参加

仲間との交流を深めながら、自分を磨きます。



1. "Necessity of greetings"

Greetings are the basics of life to build up human relations.

2. "Follow the rules of community life"

To live pleasantly in the dormitory, boarders must respect each other and follow the rules in the community.

3. "Proactive participation in the events and cultural activities of Wakeijuku"

Harmonize with each other and build up your character through annual events and Cultural Activities.

Q&A

Q 行事や教養講座への参加は必須ですか。

A 自由参加です。ぜひ積極的に参加して自分を磨いてください。参加料は無料です。

Q 大学の合格発表前でも申し込みますか。

A 合格発表前でもお申し込みを受け付けます。お申し込み後にキャンセルすることもできます。

Q 留学する場合、途中で退寮できますか。

A 留学する塾生はたくさんいますが、大半は留学後に和敬塾に戻ってきます。

Q 塾費に含まれるものは？

A 朝・夕2食の食費、水道光熱費、インターネット使用料です。

Q 見学や体験宿泊はできますか。

A 電話で事前予約すれば、平日でも土日でも見学できます。体験宿泊もできます。受験や入塾面接の際にご利用ください。

■ アクセス＆マップ Access & Map



■ 交通機関

JR [山手線] 目白駅から徒歩20分または都営バス白61系統・新宿駅西口行き「目白台三丁目」下車 徒歩1分

東京メトロ

- [有楽町線] 護国寺駅から徒歩10分
- [東西線] 早稲田駅から徒歩15分
- [副都心線] 雑司が谷駅から徒歩12分
- [都電荒川線] 早稲田駅から徒歩7分

■ 近隣施設 (徒歩5分圏内)

バス停 (目白台三丁目・早稲田)、すずき医院 (内科)、文京目白台一郵便局、目白台図書館、永青文庫 (美術館)、野間記念館 (美術館)、芭蕉庵、肥後細川庭園、江戸川公園、リーガロイヤルホテル東京、椿山荘、スーパー (COOP・まいばすけっと)、小石川消防署老松出張所、大塚警察署目白台交番